

心豊かな世代が育つ 童話の里づくり 402

—シリーズ— あなたの人権・わたしの人権

「あなたの笑顔は本物ですか？」

玖珠美山高等学校1年

井上 萌

みんながいつも笑顔ですごせるって
どんなに幸せな世界なんだろう。私は
ふと、そんな事を思いました。

今、この時代を生きている若者たち
は、言葉の意味をあまり深く考えずに、
その場のノリで友達や親、家族などに
「うざい」「きもい」「死ね」などのひ
どい暴言を吐く人が数多くいるでしょ
う。

私も、その内の一人です。笑いなが
ら言うから問題ない、本気でそんな事
を思っていないから大丈夫とか、いつ
もそんな適当な理由をつけて、人の気
持ちも考えずに言ってしまうことが多
いです。

また、私が中学生の時、学校の壁に、
ある一人の人に向けられた悪口が書い
てあることが何度もありました。その
たびに学年集会を何度も開いたのを覚
えてています。

その時は、自分に書かれたものでは
なかつたけれども、なんだか悲しい気
持ちになりました。

こんな経験をしたからこそ今、私が
思うことはたとえ悪気がなくとも、
軽い気持ちで発言した言葉でも、相手
らしたらどうでしょうか？表では笑つ

ていても心の中ではひどく傷つき、悲
しい思いをしているにちがいありません。
私も友達に死ねとか言われた経験が
あります。その時はノリやその場の雰
囲気で言つたと分かっていました。でも
も、やっぱり悲しい思いをしました。
この時に私は周りの人をこんなに簡
単に悲しい気持ちにさせてしまつてい
るんだなと改めて実感しました。

私は世界のみんなが心から笑顔にな
れて幸せな日々が送れる時がくること
を強く望んでいます。
そのためには、私はまず自分から行
動します。どのような行動をするか
いうと、まずは一番に相手が嫌になる
言葉を言いません。とても小さな事か
もしれませんが、まず自分の出来るこ
とからやっていきます。



や周囲の人を不快な気持ちにさせたり、悲しい気持ちにさせてしまうことがあるということです。
言葉というものは、自分が思つていい以上に気分を左右させるものです。
例えば「うざい」などのひどいことを言われたら、もちろん悲しい気持ちになります。でも、反対に「ありがとう」などのポジティブな言葉を言われたら、嬉しくなるし、自然と笑顔になるものだと思います。

言葉は良いことでも悪いことでも心に残ります。どうせ残るものならば、みんなの心に嬉しいことや言葉で残つて欲しいと思っています。
そこから周囲のみんなにも広げていき、みんなが毎日幸せな日々を送れるよう努力していきます。
私はすぐに周囲からの影響を受けて流されてしまうけれど、これからは周囲に合わせるのではなく、しっかりと悪いことは悪いと言える強い心を持ちたいです。

この人権作文について、意見や感想、激励など、お寄せください。
また、みなさんの投稿もお待ちしています。
わたしたちをとりまく様々な不合理や差別性について気づいたことや感じたことを一、二〇〇字程度にまとめて、住所、氏名、連絡先電話番号を記入して（匿名也可）、玖珠町教育委員会社会教育課「あなたの人権・わたしの人権」までお届けください。

